

とあり

# 一延沢館

山形より十里程東北にあり山場よりして  
清水あり天人水と号に續太平記一に墨  
子延沢冠若昭光とありハ山場のほととを  
あつて延沢社堂より也。羽澤記を見るに  
ハ人始ハ一色修理寺の臣なり一色没落  
の後義光延沢をより出天竜退治を一事  
を言がたきなりとて本館一倍の地を延り  
天竜城をよりに初至一となり初初初小

二カ石とあり山形西下より又六十人あて  
初上より種ありとを或時力若六人あて  
は種を持ちあがりて延沢十八某の附は  
而より南に延沢より路より一人あて上  
んといふ若是を種を延沢容易持上る  
と一礼一館内子へ持新古ちに納一と  
有り能堂の父を幸にと云一とを古俗能  
堂を天人の子と云傳り

# 一親善堂

城山の麓の山の旁にあり飛騨大工の建